

楽器 〈ケーナ〉

A0213

クスコ/ペルー

アンデスの玉手箱ーペルー南高地の祭り与生活



QUENA

参照資料

図録『アンデス文明』
p.175

図録『ラテン・アメリカの音楽と楽器』 p.27、
p.48、p.60、p.72～p.74、
p.88、 p.119、 p.121

フィールドアルバム
「村での楽器の演奏
ケーナ」

季刊民族学
～アンデス楽器の旅

演奏方法：

「ケーナ初歩の初歩
入門・吹き方」参照

日本の尺八に似た感じの縦笛であるが、吹き口はU字、V字などの形の切れ込みがある。長さにもバリエーションがある。材質は竹やあし、木からできた管を利用するのが一般的だが、動物の骨や角、最近では金属製のものや水道管を利用したものなどもある。

關先生からのひとこと

ケーナは、アンデスのフォルクローレで欠かすことができない楽器です。プロの演奏家が吹くことで有名になりましたが、アンデスの村でも、よく吹いているのを見かけます。男の人だけが吹きます。

昔の遺跡から、骨製のものも出土しています。